

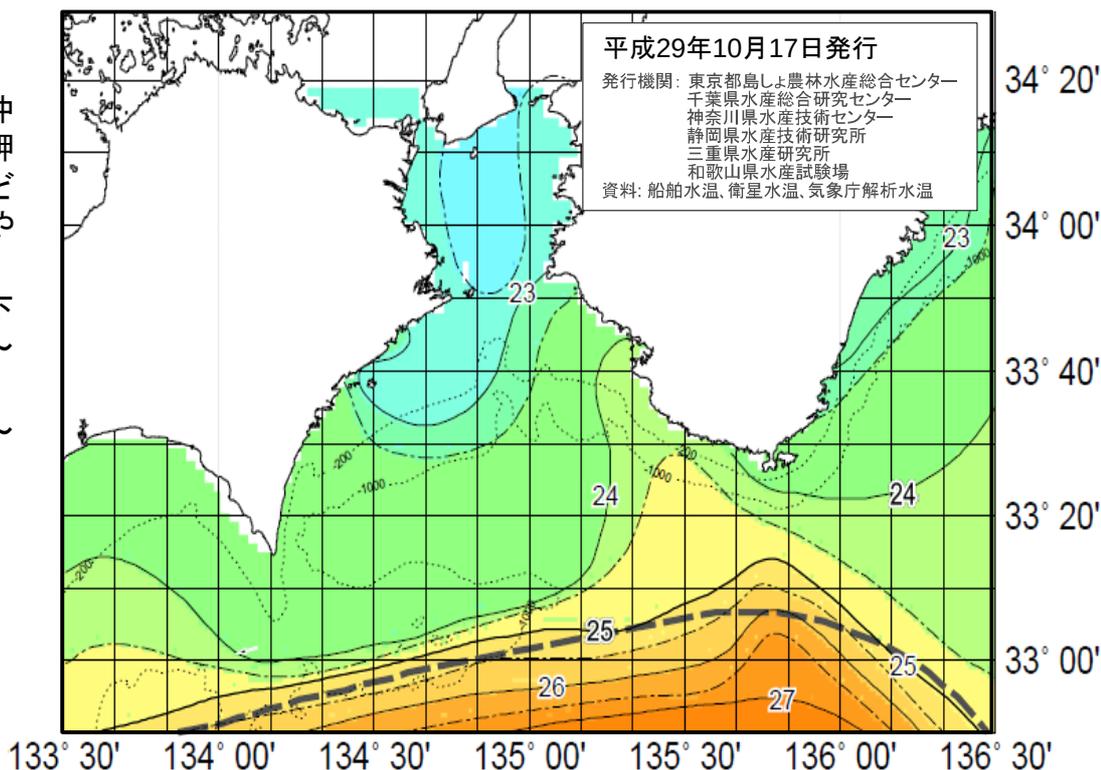
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖・潮岬沖ともに「やや離岸」で、室戸岬では前号時点からほとんど動きがなく、潮岬沖ではやや岸寄りに移動した。

徳島県沿岸の水温は下がっており、全域で22℃～23℃台となっている。

黒潮の表面温度は25℃～27℃台となっている。



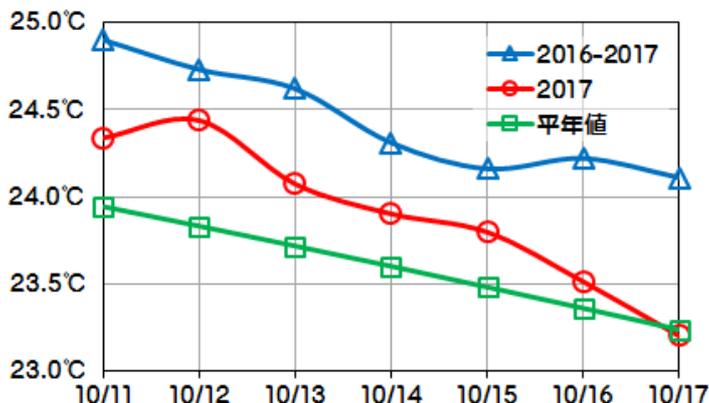
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(10月11日～10月17日)

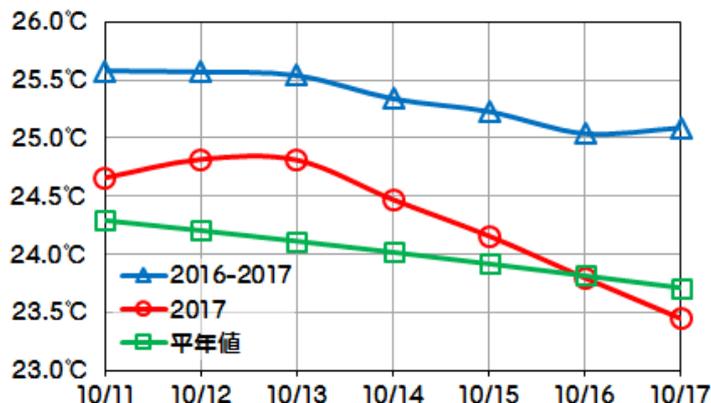
鳴門地区の地先水温はおおむね「平年並み」で、前週からゆるやかな上昇傾向で12日に「やや高め」の24.3℃となったが、その後は右肩下がりとなり、17日には23.1℃となった。

日和佐地区の地先水温もおおむね「平年並み」で、12、13日に「やや高め」の24.8℃となったが、その後下がって17日には23.4℃となった。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(10月18日～10月24日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも17日時点と比べて接岸傾向となるものの、「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」か一時「やや低め」の23℃前後、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の23℃台で推移する見込み。

漁況 2017年10月9日～10月15日（旧暦8月20日～8月26日）

満月や波浪等で漁獲が少なかった前週と比べ、全体的に漁獲が増えた。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが大きく増えて43.9ト水揚げされた。

延縄では、サワラが前週並みの6.0ト、タチウオが大きく増えて2.2ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて0.9ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが大きく増えて2.0ト、マアジが1.2ト、マルアジが小主体に0.9ト水揚げされた。マアジは前週まで小主体だったが特大・大が増えている。

底びき網では、ハモが大きく増えて2.1ト、クマエビ(あしあか)も大きく増えて2.0ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、タチウオが増えて1.2ト水揚げされた。

延縄では、キダイが大きく増えて大主体に0.6ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが小主体に1.3ト、マルアジも小主体に0.6ト、かます類が0.5ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	108	シラス	43,875	406		↗
	延縄	68	サワラ	5,999	88		→
		50	タチウオ	2,184	44		↗
	建網	77	カワハギ	915	12	大主体	↗
	小型定置網	25	カンパチ	1,995	80		↗
		26	マアジ	1,232	47		↗
		24	マルアジ	919	38	小主体	↗
		19	ブリ	320	17	つばす主体	↗
	底びき網	50	ハモ	2,094	42		↗
		50	クマエビ	1,976	40		↗
		46	いとより類	811	18		↗
		35	えそ類	510	15		↗
		38	かます類	462	12		↗
		45	コウイカ	371	8		↗
		18	マルアジ	305	17		↗
13		マアジ	282	22	特大主体	↗	
43		モンゴウイカ	281	7		↗	
海部沿岸	釣り	34	タチウオ	1,244	37		↗
		41	ブリ	363	9		↗
		11	カツオ	243	22		↗
	延縄	29	キダイ	632	22	大主体	↗
	小型定置網	22	マアジ	1,324	60	小主体	↗
		15	マルアジ	551	37	小主体	↗
		17	かます類	477	28		↗
		13	マルソウダ	347	27		↗
		37	アオリイカ	278	8		↗
		26	とびうお類	225	9		↗
		25	ヒラソウダ	211	8		→
32		カンパチ	208	7		↗	

※ 前週比 200%以上:↗ 120-200%:↖ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↙